

平成30年2月23日

保護者の皆さま

秋田県立西仙北高等学校
校長 小松 照夫

平成29年度「保護者アンケート」への回答について

春寒の候、保護者の皆さまには益々御健勝のこととお喜び申し上げます。
日頃より本校教育活動に対し御理解と御協力を賜りありがとうございます。
さて、過日は御多忙にもかかわらず「保護者アンケート」へ御協力いただき、誠にありがとうございました。お寄せいただいたアンケート結果等について次のとおり回答いたしますので御一読いただきますようお願いいたします。

1 評価について

評価「そう思う」「どちらかというと思う」の割合が全体で70%未満の次の項目について回答いたします。

- ・生徒は学習方法を身につけていると思いますか。58%
- ・生徒の家庭学習時間は確保されていると思いますか。56%
- ・部活動(同好会)は充実していると思いますか。61%
- ・生徒会活動やホームルーム活動は充実していると思いますか。69%
- ・PTAや学校行事などに積極的に参加している方だと思いますか。37%

各授業では年度当初にガイダンスを行い、ノートの取り方や予習復習の大切さを指導しています。本校の特色ある教育活動「西高チャレンジ」では数学や英語の学び直しをティームティーチングで行っています。また、「手帳」を活用した学習時間の自己管理を指導しています。家庭学習時間の確保については、年間を通して週末課題(国語・数学・英語)を課して取り組みを徹底させています。通学時間や部活動などで時間はいくらあっても足りないのが生徒達の実感だと思います。まずは自己管理の在り方をしっかりと指導していきます。

現在、運動部6つ、文化部4つ、同好会1つが活動しています。野球、サッカー、バドミントンは強化指定部として特に力を入れた指導をお願いしています。女子バレーボール部は雄勝高校、六郷高校と合同チームを組んで各種大会に出場し頑張っているところです。また、バドミントン部で女子の加入が可能であることを来年度も周知徹底し、女子の部活動加入率を上げていきたいと考えています。全校生徒数に対して開設できる部には限りがありますが、生徒には現在活動している部への入部を勧め、生徒同士が互いに高め合いながら高校生活を一層充実したものでできるよう指導に努めてまいります。

生徒会は各種委員会の活動等を通して組織的に運営されています。生徒会の目標に沿って各委員会では活動計画を立てていますが、生徒がより自主的に活動できるよう担当顧問との連携を働きかけます。各クラスでは生徒一人ひとりに役員を分担しています。生徒会活動を通じて自己有用感が高められるよう指導に努めます。また、ホームルーム活動がそれぞれのクラスの個性を発揮してより特色のある活動ができるよう取組を工夫します。

PTA活動は、役員の皆さまが中心となって「朝の声掛け運動」や「西高祭の出店」を行うなどさまざまな事業を企画し取り組んでいただきました。役員の皆さまに限らず会員の皆さまにはこれからも教育活動への御支援よろしくをお願いいたします。「西高だより」をはじめ各分掌各学年、クラス通信等御覧いただき、学校行事の際はぜひ御来校ください。今後もホームページ等を活用して広報活動に努めてまいります。

2 質問・要望等について

お寄せいただいた質問・要望等を大別し、代表的な内容について回答いたします。

- ①授業で習ってないことがテスト範囲となることがあるのはどうしてでしょうか？〈1年〉
- ②家庭勉強、宿題がなく（少なく）もう少し家庭学習ができるように。〈1年〉
- ③検定の結果が、すぐに分ならず、訳を聞くと提出物を出していない生徒がいるとの事だったが、その為ののぼされるのはどうかと思う。〈2年〉
- ④テスト前のナセナルは本当に効果があるのか？勉強ができない子にとっては質問もできず、ひたすら自習は苦痛なだけで、点数が伸びると思えない。自習した結果、分からない所をフォローしてくれる時間があればいいのだが。〈2年〉
- ⑤なんらかの事情で教室に来ることができない生徒に違う部屋での登校があればいいと思います。来た際は出席扱いにしてほしいです。そのようなことはできないのでしょうか？〈3年〉

- ① 考查範囲は遅くとも一週間前までに学習委員の生徒が調べて、全生徒に配布されます。もちろん考查は、その考查範囲に基づいて実施されます。ただし、その後の授業の実施状況によっては、考查範囲が多少変わる場合もあります。変わった場合は、その該当生徒に授業等を通じて周知徹底するようにしています。実習を行う授業では、その進み具合が生徒によって大きく変わることがありますので、生徒によって範囲や評価に不公平がないように十分配慮しています。
今回、一学期期末考查において、実習の進み具合によっては書けない問題が出された科目がありました。その点について、ご心配、御迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。その箇所については、その後事実確認し、全員に加点し評価することにし、年間の評価では不公平のないようにしました。
- ② 宿題については、国語、数学、英語の3教科で、年間を通して週末課題を課しています。その取り組みについては、評価に加えられています。家庭学習の定着は、大きな課題の一つですが、現在のところ、その週末課題を徹底させることに学校全体で取り組んでいます。
- ③ 学校では様々な検定を実施しています。外部機関が採点するものがほとんどですが、中には校内で採点できるものもあります。その際も合否の発表に対して一定条件、一定期間が必要になります。その検定についても、合格のチャンスを与えるために厳しく指導しているところではあります。
- ④ ナセナル学習の目的（意義）について、学年、学級で生徒に話しておりますが、ご家庭へのお知らせが徹底できなかったこととお詫び申し上げます。ナセナル学習の目的は定期考查対策として自学自習を行い、自ら学ぶ姿勢、諦めずにながまん強く取り組む姿勢、自ら課題を確認し把握する力、課題克服のための計画を立てる力を養うことにあります。単にテストで点数を取ることを目的としているわけではなく、生徒の成長を促す機会の一つと考えております。
- ⑤ 学校に登校できない生徒や教室に入ることができない生徒については、柔軟に対処するようにしています。その個々の生徒の事情を確認し、別室登校ができるような状態であれば、全職員で共通理解した上で、別室で様子を見ることもできます。その際は登校してきているわけですから、出席となります。各授業については、課題を提出させるなど、その生徒の状況によって進捗ができるだけ遅れることのないように様々な形で取り組ませます。そのケースによって、その生徒に不利にならないように情報交換をしながら個別に対応していきます。

- ①喫煙問題ですが、制服に臭いがついていてだけで子供が疑われるのですか？両親が吸っていますので、本人は行っていません。〈1年〉
- ②いじめについて学校ではどのような対策をとっているのでしょうか？〈2年〉
- ③何か生徒同士の問題が発生したとき、一方だけの話を聞いて話すのはやめてもらいたい。きちんと両方の話を聞いた上で対応して欲しい。〈3年〉

- ① それだけで疑うことはありません。そのような対応があったとすれば申し訳ありません。今後そのようなことがないように徹底します。
- ② 年に2回のいじめのアンケートに加え、マンスリーチェックでも早期発見できるように努めています。
- ③ 生徒指導上の案件で、一方だけの話を聞くことはありません。必ず双方からの話を聞き、複数の職員で対応しております。

- ①部活などもですが時間の変更があった時や、その場に居なかった時は居なかった人への連絡をきちんとしてほしいです。月に一回、その月の行事予定などをメールで送られてくると予定を決められるので、そういった事でメールを使用してもいいかと思います。他校ではあるので…。手紙を見せてくるのが遅い場合があるので。〈1年〉
- ②部活の顧問が競技経験者ではないためか技術面の指導がない。毎日練習はしているが、どこが悪いのかどうすれば良くなるのか教えてくれる人がいないと上達できないのではないのでしょうか。技術や体力の向上を目指した指導をお願いしたい。顧問ができないのであれば、週に1回や月に数回でいいので外部コーチなどを招くことはできないのでしょうか。〈2年〉

- ① 部活動の予定表は、ほとんどの部で月末に翌月の予定表を配付しています。変更がある場合には口頭で連絡をしたり、キャプテンからの一斉メールで連絡しています。また、練習試合等が多く入る時や長期休業中前に予定表を配付したり、年度初めに主な大会の日程を連絡している部もあります。いずれの場合においても保護者の皆さまへの連絡は、早めに確実に行うよう努めてまいります。
- ② 少子化による部員数の減少やそれに伴う部活動の休部・廃部、また顧問教員については専門以外の教員が配置されるなどやむを得ない現状です。外部指導者の活用については、現在茶華道部で指導者を依頼しておりますが、その他の部活動においても有効な活用となるよう関係者で審議をし、生徒の技術向上、部活動の活性化につながるよう努めてまいります。

学校からの連絡などのメールがたまに届かない。すべて届かないわけではないので不思議です。それと緊急メールが他校よりも対応が遅くて困る。〈2年〉

メールの内容によっては、送信対象者が異なりますので、すべてのメールが全校生徒保護者に送信されているわけではありません。不都合が生じている場合には、再度登録していただく必要があるかもしれませんので、学校へ御相談ください。緊急メールについては、生徒の通学区域が広範囲であるために、公共交通機関の運行状況を正確に把握し対応を判断するまでに時間を要しております。なお、非常災害時における対応については、今年度8月に配付させていただいた「地震や大雨等による非常災害時における対応について」でお知らせしているとおります。

トイレを洋式にしてほしい。〈2年〉

トイレ改修への国の補助がないといった予算不足のほか、生徒の安全を守る校舎耐震化が優先という事情があります。県でもニーズが大きいことは把握しており、着実に洋式の数を増やしていきたいということですので、御理解をお願いいたします。

学校評議員の皆さまに、「保護者・生徒アンケート」、「教職員アンケート」を御覧いただき学校経営に対する御意見を伺いました。いただいた御意見をもとに学校では次年度への改善策を立案しています。保護者・生徒アンケート結果とあわせてホームページに今年度中に掲載しますのでぜひ御覧ください。

保護者の皆さまには、今後もより良い学校づくりへ向けて、御提言・御協力を賜りますよう、お願いいたします。